

《資料②》

令和元年度加古川市水道事業会計決算概要

(1) 業務量

	元年度	30年度	増減	増減率(%)
給水人口	254,043人	255,270人	△1,227人	△ 0.5
配水量	27,254,875m ³	27,388,625m ³	△133,750m ³	△ 0.5
有収水量	25,971,830m ³	26,080,813m ³	△108,983m ³	△ 0.4
有収率	95.3%	95.2%	+0.1ポイント	—

(2) 決算総括(3条) ※ ()内は税込 (単位:千円・%)

	元年度	30年度	増減	増減率
事業収益	5,263,825	5,227,756	36,069	(+0.7)
	(5,716,553)	(5,619,394)	(97,159)	(+1.7)
事業費用	4,361,629	4,398,781	△ 37,152	△ 0.8
	(4,579,858)	(4,655,105)	(△75,247)	△ 1.6
差引	902,196	828,975	73,221	(+8.8)
	(1,136,695)	(964,289)	(172,406)	(+17.9)

(3) 純利益の状況(税抜) (単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
純利益	877,980	921,368	815,678	828,975	902,196

(4) 決算総括(4条・税込) (単位:千円・%)

	元年度	30年度	増減	増減率
資本的収入	1,711,168	1,469,974	241,194	+16.4
資本的支出	3,890,403	3,492,137	398,266	+11.4
差引	△ 2,179,235	△ 2,022,163	△ 157,072	+7.8

(5) 補填財源 4条収支差額を補填する (単位:千円)

項目	元年度	30年度	差額
減価償却費などの留保財源	1,549,235	1,822,163	△ 272,928
建設改良積立金	630,000	200,000	+430,000
計	2,179,235	2,022,163	+157,072

ビジョン指標の進捗一覧(水道事業)

方針	目標	指標名	平成30年度	現状 (令和元年度)	中間目標値 (令和5年度)	最終目標値 (令和10年度)
安全	安全・安心な水づくり	水質基準不適合率	0%	0%	0%	0%
	水道水の品質の向上	平均残留塩素濃度	0.31mg/ℓ	0.30mg/ℓ	0.40mg/ℓ	0.40mg/ℓ
		最大カビ臭物質濃度 水質基準比率	30%	20%	40%	40%
強靱	施設の更新・耐震化	浄水施設の耐震化率	12.1%	12.1%	12.1%	78%
		配水池の耐震化率	21.5%	21.5%	20.8%	100%
	管路の更新・耐震化	基幹管路の耐震化率	24.2%	24.7%	36%	50%
		配水支管の耐震化率	27.3%	27.7%	28%	30%
	危機管理体制の構築	上下水道BCPに基づく訓練 の実施回数	2回/年	4回/年	2回以上/年	2回以上/年
		災害用応急給水栓	1箇所	6箇所	25箇所	25箇所
	施設の機能維持	有収率	95.2%	95.3%	95.0%以上	95.0%以上
持続	持続可能な経営	経常収支比率	118.4%	120.7%	100%以上	100%以上
		料金回収率	110.7%	111.2%	100%以上	100%以上
	お客さまとの コミュニケーション	広報誌発行回数	1回/年	1回/年	2回/年	2回/年
		アンケートの実施	0回/年	1回/年	定期的に実施	定期的に実施

【安全・安心な水づくり】・【水道水の品質の向上】の目標におけるR元年度の実績値

指標名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	中間目標 (R5)	最終目標 (R10)
水質基準不適合率 ※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均残留塩素濃度 ※2	0.48	0.46	0.48	0.48	0.51	0.46	0.41	0.31	0.30	0.40	0.40
最大カビ臭物質濃度 水質基準比率 ※3	0	0	20	40	40	50	80	30	20	40	40

測定月(R1年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水質基準不適合率 (月毎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均残留塩素濃度 (月毎)	0.31	0.27	0.29	0.31	0.31	0.32	0.31	0.30	0.30	0.32	0.30	0.33
最大カビ臭物質濃度 水質基準比率(月毎)	10	10	20	20	20	10	20	20	10	10	20	10

※1水質基準値に適合しない検査の回数の割合 : (水質基準不適合回数 / 全検査回数) × 100

※2残留塩素濃度の平均値 : (残留塩素濃度合計 / 残留塩素測定回数)

※3カビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合 : (最大カビ臭物質濃度 / 水質基準値) × 100

基幹管路の老朽化率・耐震化率の推移

(単位:m)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予測)
基幹管路総延長(A)	92,169	92,314	92,314	92,428	93,138	93,220	96,920
基幹老朽管路(B)	29,077	30,832	33,840	35,922	44,926	52,009	58,912
基幹耐震管路(C)	20,541	20,746	20,746	20,836	22,536	23,025	27,605
老朽化率(B/A)	31.55%	33.40%	36.66%	38.86%	48.24%	55.79%	60.78%
耐震化率(C/A)	22.29%	22.47%	22.47%	22.54%	24.20%	24.70%	28.48%

※基幹老朽管路は法定耐用年数40年を経過した管路